

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：労働費 項：労政費 目：雇用促進費

事業名 岐阜県シルバー人材センター連合会補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部労働雇用課労働企画係 電話番号：058-272-1111 (内3664)

E-mail：c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,080 千円 (前年度予算額：9,080 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	9,080	0	0	0	0	0	0	0	9,080
要求額	9,080	0	0	0	0	0	0	0	9,080
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

高齢化社会が急速に進行する中、地域の活力を維持していくためには、高齢者が長年培ってきた知識・経験を活かして地域社会に参加し、社会を支える側に回ることが求められている。

県下41シルバー人材センターの指導等を行う（公社）岐阜県シルバー人材センター連合会を支援することにより、高齢者の就業機会を確保し、社会参加を促していく必要がある。

(2) 事業内容

高齢者の就業機会の拡大に取り組む（公社）岐阜県シルバー人材センター連合会の運営費に対する補助を行う。

- ・連合会構成員は、市町村等シルバー人材センター等 41
賛助会員（市町村） 42（令和5年8月末現在）
- ・対象経費は、連合会運営に必要な経費（人件費、一般運営費、事業費）
- ・連合会の主な事業は、安全適正就業推進事業、普及啓発事業、就業開拓推進事業、交流研修事業、調査研究事業 等

(3) 県負担・補助率の考え方

国は、都道府県が補助することを条件にその同額までを補助。
県は、補助対象経費の1/2以内の額を補助。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	9,080	連合会職員人件費、一般運営費、事業費
合計	9,080	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 法令等との関係

高年齢者等の雇用の安定等に関する法律 第36条

「国及び地方公共団体は、定年退職者その他の高年齢退職者の職業生活の充実その他福祉の増進に資するため、臨時的かつ短期的な就業又は次条第一項の軽易な業務に係る就業を希望するこれらの者について、就業に関する相談を実施し、その希望に応じた就業の機会を提供する団体を育成し、その他その就業の機会の確保のために必要な措置を講ずるよう努めるものとする。」

(2) 国・他県の状況

平成10年度中に全国47都道府県において、連合会の設置が完了し、全国全ての連合会は国及び都道府県から補助を受けている。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	岐阜県シルバー人材センター連合会補助金
補助事業者（団体）	（公社）岐阜県シルバー人材センター連合会 （理由）高年齢者等の雇用の安定等に関する法律第44条に基づき県の指定を受けた団体であり、県内シルバー人材センターを統括する団体である。
補助事業の概要	（目的）（公社）岐阜県シルバー人材センター連合会の活動を支援することにより、高齢者の就業機会を確保し、社会参加を促す。 （内容）県下41シルバー人材センターの指導等を行う連合会に対して、国と共に運営費の一部を補助する。
補助率・補助単価等	定額・定率・ <u>その他</u> （例：人件費相当額） （内容）人件費、一般運営費、事業費 （補助対象経費の2分の1以内） （理由）岐阜県シルバー人材センター連合会補助金交付要綱より
補助効果	地域の労働力として活躍できるシニア人材を増やす。
終期の設定	終期令和8年度 （理由）継続的な実施が必要な施策であるが、社会情勢等を踏まえて方針を検討するため。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 高齢者の就業を通じた社会参加を促すため、引き続き、県内シルバー人材センターの会員確保と就業機会の拡大を目指す。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H26)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
	① 会員数	13,895人	12,812人	13,810人	13,909人	

補助金交付実績 (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	9,080	9,080	9,080

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	コロナの影響により会員の入会説明会を開催することができなかったが、シニア人材の育成、就業先の開拓やシルバー派遣事業等を通じて、高齢者の社会参加を促した。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	シニア人材の育成、就業先の開拓やシルバー派遣事業等を通じて、高齢者の社会参加を促した。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	シニア人材の育成、就業先の開拓やシルバー派遣事業等を通じて、高齢者の社会参加を促した。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	県内企業にとって人材確保が大きな課題となっており、不足を補う働き手として期待される高年齢人材の活用は不可欠である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価) 1	働く意欲のある高年齢者の社会参加・就労機会の確保により、活力ある地域の形成に貢献している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	連合会は、自立的な運営基盤の確立のための取組を推進するとともに、効果的・効率的な事業の運営に努めている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 高齢者の就業を通じた社会参加を促すため、今後も(公社)岐阜県シルバー人材センター連合会に対する支援を通じて、県内シルバー人材センターの会員確保と就業機会の拡大を図っていく必要がある。	
---	--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 少子高齢化の進展に伴い労働力不足が課題となる中で、重要な労働力として高齢者の活躍が期待されており、今後も当該団体に対する支援を継続する必要がある。	
--	--